

EDGE-NEXT（東京大学）プログラム説明

企業以外の参加者は無料、企業からの参加者は基礎編以降は参加費をお支払い頂きます。

◆Pre-基礎編（5月～6月）

社会課題の解決に意欲のある大学関係者（原則大学院生以上の研究従事者）、国立研究所の研究者、官庁、企業の「研究開発者」または「事業開発者」が個人で応募し、自己紹介で相互理解を図り、各分野の東大有識者による講演で社会課題の本質を学び、事業アイデアのある人はネットワーキング会で自らのアイデアを紹介して仲間を集める。EDGE-NEXTの基礎編以降のプログラム説明も行われる。参加費は無料。

◆基礎編（7月～8月）

課題への熱意と自らの持ち味（研究成果、事業経験）を持つ大学関係者（原則大学院生以上の研究従事者）、国立研究所の研究者、官庁、企業の「研究開発者」または「事業開発者」が個人またはチームで応募する。

原則として、下記の課題別にメンバー募集を行う。

- ・災害、インフラ課題
- ・健康、医療、高齢化課題
- ・環境（水、廃棄物、衛生）課題
- ・電力、エネルギー課題
- ・農業、食料課題
- ・その他（デジタル社会など）

自らの特技（例えば、研究成果、プログラミング技術、試作の技、豊富なアイデア、コミュニケーション力など）と事業化したい課題をアピールし、議論を通じてチームを自ら作り、各メンバーの役割とリーダーを決める。チームには、その事業の主軸となる研究成果を提供できるメンバーを入れることが望ましい。出来たチームで、狙う事業領域の課題を深堀し、課題のヒアリングを行い、課題を明確化する。その解決に向けて初期事業化構想をまとめる。

優秀な計画を提示したチームには、国内外での課題ヒアリングの旅費交通費等の支給、また、国内外スポットコンサル会社からのリアルな情報入手支援を行う。

- ・募集人数：約40名（定員になり次第締め切り）
- ・企業からの参加費：10万円/人

◆発展編（9月～翌2月）

発展編への参加は、チームで応募し、応募時に、解決すべき課題、課題の解決策

のアイデア、チームメンバーの経歴と役割を記載頂く。取り上げるテーマが適切か、チームメンバー構成が適切かの観点で審査を行って決定し、以下の活動を行う。

チームごとに、研究成果を基にビジネス専門家・有識者（メンター）による事業化構想立案の個別指導を行い、顧客ヒアリング等を通してまとめた事業化構想案を発表し、フィードバックを得る（中間発表2回、国内最終発表）。2月にはシリコンバレーおよびサンディエゴで海外研修を行う。海外投資家の前で英語により事業化構想を発表し、審査・コメントを得る。

優秀な計画を提示したチームには、国内外での顧客ヒアリングの旅費交通費等の支給、また、国内外スポットコンサル会社からのリアルな情報入手支援を行う。

・募集人数：約35名 約12チーム

・企業からの参加費：新型コロナウイルスの影響で、海外研修を現地で行うことができない可能性があるため、発展編における企業からの参加費の支払いを下記の通りとする。

初期支払い： 30万円/人を支払いいただく。

追加支払い： 翌2月に米国にて海外研修を行う場合、参加を希望する際はその費用として、さらに30万円/人を支払いいただく。（合計60万円/人）

海外研修が現地で行えず、オンラインで行うことになった場合は、追加支払いは不要となります。（合計30万円/人）

◆実践編（通年で募集し、活動期間4か月）

本気で事業化を目指すチーム（3チーム（約6名）程度）を選抜する。

選抜方法は、事業化構想と活動計画の2つの書類を事前に提出頂き、書類審査と面接で行う。

活動計画に関しては、事業構想を投資案件レベルに引き上げるための取り組み（例えば、市場検証、事業の核となるデバイス・システムの試作、事業化に向けてのメンバー増強、知財戦略に基づく特許出願など）を自ら立案して頂く。その活動計画に応じて、チームへ活動費やメンター等の支援を行う。期末には、最終報告会を実施し、今後の道筋を確認する。

・企業からの参加費：70万円/人

※旅費交通費の支払いは、東京大学の学内規定に従って行われます。

※研修及びメンタリングにおいて、Web会議を積極的に活用します。